

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2017 年度

事業計画



わたしが変わる。
未来が変わる。

girl scouts

2017年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

日本連盟 2020年のビジョン

すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では100年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

日本連盟 2015年～2017年の目標：

- 目標 1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する
- 目標 2 少女と若い女性が社会を変える力をつける

日本連盟 会員数の目標

各団「2016年度の会員数+1」をめざし、前年度比2.5%増を目指します。

2017 年度 事業計画

<p>日本のガールスカウト運動 100 周年事業まであと 3 年。 100 周年を迎える 2020 年には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会に変化をもたらすガールスカウトの姿を社会に示す 2. 社会に変化をもたらす行動をする仲間を 40,000 人にする <p style="text-align: center;">ことを目指し、活動基本方針に沿い 2017 年度事業を実施します。</p>

日本のガールスカウト運動 100 周年事業

2020 年日本のガールスカウト運動 100 周年に向け、2017 年度は次のことに取り組みます。

事業名	期日・場所・内容など
コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100)	エントリー：随時受付中 10 月 表彰式の予定
100 万人とつながるキャンペーン	年間
ガールスカウト 100 年記念誌出版	出版準備開始
100 周年に向けた資金調達活動 (ファンドレイジング)	みらい募金への協力依頼 ファンドレイザーを組織する
100 周年記念イベント (2020 年 国際ガールズメッセ / 2021 年 インターナショナルキャンプ)	準備開始

教育プログラム

活動基本方針にある、「社会を変えるチェンジエージェントとして行動する」ためには、年少部門に団活動を通じて培われた力を土台に、課題を発見し、問題解決に向けて仲間と行動する力、社会に発信する力が必要です。そこで、日本連盟では、2014 年度から特に年長部門のプログラムの充実を図ることに力を入れて取り組んでいます。2015 年度には、年長部門の事業として「レンジャートレイニング」を実施し、2016 年度は各都道府県連盟でその取り組みを進めました。2017 年度は、これまで戸隠ガールスカウトセンターで開催していた年長部門対象のキャンプの形を一新し、レンジャーおよびレンジャーフライアップ後のユース年代のプログラムの充実を図ります。同時に、WEB 等を活用し、全年代のプログラムの向上に資する発信を強化します。

(注： **W** 世界連盟プログラム / **AP** アジア・太平洋地域プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
レンジャー年代： テーマ別キャンプ	GIRLS SURVIVAL CAMP (テーマ：サバイバル) 7 月 30 日 (日) ～ 8 月 3 日 (木) 戸隠ガールスカウトセンター 30 人程度
	TAKE ACTION FOR GIRLS CAMP (テーマ：FBM*) 8 月 5 日 (土) ～ 8 月 8 日 (火) 戸隠ガールスカウトセンター 30 人程度

事業名	期日・場所・内容など
レンジャー年代： テーマ別キャンプ（つづき）	SPEAK OUT FOR GIRLS CAMP （テーマ：VAV**） 8月24日（木）～8月27日（日） 戸隠ガールスカウトセンター 30人程度
ユース年代キャンプ	GIRLS SKILL UP CAMP （テーマ：ファシリテーションスキル） 9月9日（土）～9月12日（火） 戸隠ガールスカウトセンター 30人程度（18歳～概ね25歳） *世界連盟から指導者を招き、英語でのプログラムを提供（予定）
地区シニア部門事業	地区に対し、FBM*又はVAV**をテーマとした活動に、 1地区50,000円を助成する
ユースチャレンジプログラム	1グループ50,000円を助成する。（最大7グループ）
国際理解支援事業	海外研修渡航費補助（10グループ）
ピースプロジェクト Greener×Greener II	年間・全国 国内の活動推進 取り組み最終年
W Stop the Violence キャンペーン	VAV**プログラムの実施、STV***オンライン学習の普及
W 大好きなわたし～Free Being Me (FBM) ～	年間・全国 第2弾のプログラム開始
AP ミャンマー連盟との協働プロジェクト	大学生年代対象（Reach Out プロジェクト）
ワールドシンキングデイ	2018年2月22日（木）・全国
戸隠ガールスカウトセンター を活用した教育の実践	4月29日（土・祝）～11月13日（月）
教材等の出版・販売	年間
プログラム開発特別委員会	年間
教育・指導者委員会	年間

FBM*：大好きなわたし～Free Being Me～

VAV**：Voices against Violence みんなでつくる 差別と暴力のない世界

STV***：Stop the Violence

成人のトレーニング

2016年度は、従来のトレーナーセミナーに加え、トレーナーの学びの場として、トレーナー・トレーニングの他、WEB活用、複数県連盟のトレーナーとチームを組んでの研修機会などを提供しました。また、STVキャンペーンの教育プログラムであるVAV**プログラムなど世界連盟プログラムに関わる指導者養成をおこないました。2017年度は、引き続き活動基本方針を体現する教育プログラムを会員に確実に提供することのできる指導者を育成するため、トレーナーの成長を支援する事業を実施します。

（注：W 世界連盟プログラム）

事業名	期日・場所・内容など
トレーナーセミナー	第1回 12月2日(土)～12月3日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
	第2回 2018年2月又は3月 会場未定(近畿地区予定)
トレーナートレーニング	10月7日(土)～10月9日(月・祝) 戸隠ガールスカウトセンター
W Stop the Violence キャンペーン VAV アンバサダー養成講習会	5月4日(木・祝)～5月5日(金・祝) 戸隠ガールスカウトセンター
W Stop the Violence キャンペーン VAV アヌーシュ養成講習会	5月5日(金・祝)～5月6日(土) 戸隠ガールスカウトセンター
W Stop the Violence キャンペーン VAV 指導者研修会	日程：6月24日(土)・6月25日(日) 協力：広島県連盟 会場：専念寺(広島市)
	日程：9月9日(土)・9月10日(日) 協力：茨城県連盟 会場：茨城県立青少年会館(水戸市)
	日程：9月17日(日)・9月18日(月・祝) 協力：東京都連盟 会場：ガールスカウト会館(渋谷区)
	日程：10月28日(土)・10月29日(日) 協力：福島県連盟 会場：未定
	日程：10月28日(土)・10月29日(日) 協力：神奈川県連盟 会場：未定
	日程：10月28日(土)・10月29日(日) 協力：三重県連盟 会場：未定
	日程：10月 協力：群馬県連盟 会場：未定
	日程：2017年10月または11月 協力：大阪府連盟 会場：未定
	日程：11月 協力：滋賀県連盟 会場：未定

事業名	期日・場所・内容など
Stop the Violence キャンペーン VAV 指導者研修会 (つづき)	日程：11 月
	協力：長野県連盟
	会場：未定
	日程：12 月 9 日 (土)・12 月 10 日 (日)
	協力：奈良県連盟
	会場：奈良県社会福祉総合センター (橿原市)
	日程：2018 年 1 月
	協力：愛知県連盟
	会場：未定
W FBM 第 2 弾トレーナー研修	期日・会場未定
	日程：2018 年 2 月
	協力：大分県連盟
	会場：未定
	期日・会場未定
	2018 年 2 月 11 日 (日) ~ 2 月 12 日 (月・祝)
	国立オリンピック記念青少年総合センター / ガール スカウト会館
	プログラムトレーナー認定審 査会
	2018 年 2 月 10 日 (土)
ガールスカウト会館	
トレーナー養成・育成勉強会	4 月 16 日 (日) 仙台市生涯学習支援センター 8 月 会場未定
海外研修本部派遣	第 36 回世界会議青年代表派遣 WAGGGS プログラム等へ成人会員の派遣
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修 派遣	随時 都道府県連盟で実施
指導者の派遣	随時
トレーナーへの支援	年間
成人トレーニング特別委員会	年間

組織と運営

2016年度は、2013年度に開始した都道府県連盟訪問事業において、全都道府県連盟への訪問が完了しました。また、連盟長会議では、2020年日本のガールスカウト運動100周年を視野に入れた討議がおこなわれました。ネパールでおこなわれた第12回アジア太平洋地域会議へ代表者を派遣し、世界連盟の方向性を確認しました。2017年度は、世界の動向を意識しながら、団、都道府県連盟、日本連盟が各々自らの役割を担い、ガールスカウト運動を活性化するための取り組みを促進します。

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	11月18日（土）～11月19日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター 各都道府県連盟より2人
新任連盟長研修	6月18日（日）／ガールスカウト会館
都道府県連盟訪問事業	随時
組織拡充のための理事等派遣	随時
顧問会	2018年3月10日（土）／ガールスカウト会館
評議員会	12月9日（土）／ガールスカウト会館
フレンズ オブ ザ ボード	2018年3月10日（土）／ガールスカウト会館
理事会・理事連絡会	理事会6回／理事連絡会7回
理事研修	第1回 5月28日（日） ガールスカウト会館 第2回 9月9日（土）～9月10日（日） ガールスカウト会館
監査	5月7日（日）／ガールスカウト会館
第89回定時総会	5月27日（土）／ガールスカウト会館
第36回世界会議	9月18日（月・祝）～9月22日（金）／インド
ガールスカウト推進議員連盟総会	未定
地域支援事業	年間 ガールスカウト運動を推進する事業
戦略検討特別委員会	年間
組織・運営委員会	年間
『Girl Scouts News』発行	年2回 全会員対象
事務局の強化	年間

会員

ガールスカウトの認知度を向上するためには、ガールスカウトの知名度を上げる必要があるという問題意識から、まずは積極的に「ガールスカウト」を伝えることに重点を置き、2013年から各団・都道府県連盟で取り組んでいただいています。その数は、2015年度に34万人に達しました。2016年度は、より深くガールスカウトを伝えることと、ガールスカウトの体験機会の充実を目指し、WEB活用を併用した「おやこでチャレンジ」「春の体験集会」を開始・充実し、ガールスカウトの認知度向上を図りました。その成果により、新規に入会する会員数に少しずつ増加する傾向が見られます。

2017年度は、さらにWEB活用の広報活動と連動した取り組みを促進します。また、現会員の継続率向上のための情報発信を強化します。2020年100周年の年には、会員40,000人を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
おやこでチャレンジ (秋入会促進事業)	全国
春の体験集会 (春入会促進事業)	全国
会員継続率向上のための取り組み	年間
会員データベースの活用	年間
会員の活動形態の検討	年間
表彰	功労章、永続奉仕章、感謝状等

社会との関係

2016年度は団・都道府県連盟を対象に、広報研修会を通して、活動基本方針やガールスカウト活動の今日的価値の理解を深め、社会とのコミュニケーションをとる具体的な方法を学ぶ機会を提供しました。またガールスカウトの日、国際ガールズ・デー、ワールドシンキングデイなどで広報キャンペーンをおこなうとともに、インターネットの教育関連ウェブサイトに広告記事を掲載し、一般社会へのガールスカウトの知名度を高めました。

2017年度はさらに、団レベルでの一般へのガールスカウトの統一したブランドイメージの発信および、インターネット上での露出を増やすことを目的に、県連盟への支援をおこないます。外部からのアクセス増大や会員の利便性に配慮した公式ホームページの改善のほか、SNSなどを使い、認知度の更なる向上・拡大を進めます。

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための全国活動	5月22日(月) ガールスカウトの日 全国一斉で実施
	10月11日(水) 国際ガールズ・デー
	2018年2月22日(木) ワールドシンキングデイ
KIZUNA Day	2018年3月11日(日)
広報イベントおよび広報キャンペーンの展開	年間

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウトのPR	年間
広報資料の作成	年間
ホームページ等の運営	年間
SNSの活用	年間
社会との連携	年間
他団体との連携	年間

財政

2016年度は、戸隠ガールスカウトセンターの財政基盤を支えるために「戸隠を想う日」を制定しました。また、グッズ事業においては、インターネットショップの利用促進を図りました。しかしながら、みらい募金、個人賛助会費については目標に対して83%程度にとどまりました。2017年度は、100周年事業のための財政確立と、日本のガールスカウト運動が持続可能となる財政基盤の確立を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月29日（土・祝）～7月9日（日）
	夏期利用：7月15日（土）～8月31日（木）
	秋期利用：9月1日（金）～11月13日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の獲得	みらい募金、戸隠募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル
戸隠を想う日	6月8日（木）
グッズ販売事業	年間
賛助会員トレフォイルの集い	10月28日（土）／福井県
財政検討特別委員会	年間
ファンドレイジング委員会	年間

ガールスカウト日本連盟制定日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

以上

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2020年のビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2015年～2017年グローバル戦略の目標：

目標1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する

目標2 少女と若い女性が世界を変える力をつける

創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)